

令和4年第5回 幸手市教育委員会定例会会議録						
招 集 期 日		令和4年5月17日（火）午前9時30分				
開 会 場 所		市役所第二庁舎 2階 第1会議室A				
開会の日時・宣告者		令和4年5月17日（火）午前9時30分			山 西 実	
閉会の日時・宣告者		令和4年5月17日（火）午前11時07分			山 西 実	
出席 状 況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出 席	教 育 委 員	高 島 勝 也	出 席
	職務代理者	会 田 研 司	出 席	教 育 委 員	藤 沼 寛 次	出 席
	教 育 委 員	岩 崎 万 紀 子	出 席	教 育 委 員	古 沢 万 友 実	出 席
傍聴人：0人				書 記：大 竹 孝 典・河 口 奈 緒		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	小 林 秀 樹				
	総 務 課 長	服 部 道 春				
	学校教育課長	堀 越 成 夫				
	社会教育課長	仙 田 茂 雄				
	学校教育課 主幹兼指導主事	奥 澤 智 志				

会 議 事 件 名	顛 末
開 会 午前 9 時 30 分 日程第 1 前回会議録の承認 日程第 2 協議事項 「ＩＣＴを活用した今後の教育」	教育長 開会を宣する。 教育長 令和 4 年第 4 回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。 学校教育課長及び奥澤主幹兼指導主事 「ＩＣＴを活用した今後の教育」について、資料により説明する。 《質疑》 藤沼委員 3 点お話ししたい。 1 点目は、ＩＣＴを活用した教育を進めることで、個別最適化された学びの推進やペーパーレス化など、良い面もあるが、今までと脳の使い方が変化し、負担に感じる子どもも出てくるかと思う。 個々の子どもの習熟度に合せながら、従来のアナログ的な指導教育も併用して、バランスよく進めていただけるとありがたい。 2 点目は、幸手市 P B L (Project Based Learning) の説明があったが、ＩＣＴがどんなに進化しても、課題解決の 7 割は、自らの頭で考える、いわゆるアナログな部分で、残りの 3 割が ＩＣＴを活用したアウトプットであり、頭の使い方は従来とさほど変わらないと思う。ＡＩに頼ってしまうと脳が劣化してしまうので、自らの頭で答えを導き出す必要があるかと思う。 3 点目は、「2022 デジタル・シティズンシップ教育講座メニュー」のうち、特に「インターネット上のウソやだましにのらない」は、非常に重要だと感じた。

	インターネット上では、嘘やだましが日常茶飯事に発生しているので、これからの情報化社会を生き抜く子どもたちのためにも、各学年に応じた啓発動画などを作成しながら、デジタル・シティズンシップ教育を進めていただけるとありがたい。 学校教育課長 1点目だが、GIGAスクール構想が始まる際に、文部科学省からは常々、個別最適な学びと対話的な学びというキーワードが示されており、これらを踏まえてバランスの取れた指導を行っている。これからも継続していく。 2点目だが、課題の解決に向けて自らの頭で考え、その結果を、ICTを活用してアウトプットし、プレゼンテーションを行いたいと考えている。 高島委員 アナログとデジタルのバランスについて、私も藤沼委員の意見に賛同する。 先日、民放テレビのアナウンサーが、ネットニュースだと頭に残らないので、最近になって新聞の購読を始めたとの話をしていたが、様々な研究でも、デジタルに偏りすぎると長文を論理的に理解することができなくなってしまうという結果が示されているので、そういった面からもアナログとデジタルのバランスの取れた活用というのは非常に重要であると考えます。 それから、デジタル・シティズンシップ教育だが、今までの同じ答えを導く指導から、個々の価値観を理解し、答えに導く指導への変革は、教師力が非常に問われるものだと思う。研修を通じて、教師同士が切磋琢磨しながら、教師力を高めあっていく必要があるかと思う。 学校教育課長 長文の読解力についてだが、本年4月に実施された全国学力学習状況調査の国語の問題で、読むだけでも苦労するような長文があったので、これからも長文を読むといった習慣づけを行い、論理的な思考を育む取組を実施していきたい。 次に、デジタル・シティズンシップ教育については、今年度から始まったばかりで試行錯誤の段階だが、高島委員からいただいた御意見を、学校ICT教育専門員の方が講師を務める教員向け講義に取り入れながら進めてい
--	---

	きたい。 岩崎委員 3点お話したい。 1点目は、PBLの進捗管理や評価方法についてもう少し詳しく伺いたい。 2点目は、PBLの取組のPRについて伺う。 3点目は、オリジナル漫画教材「ネット警備隊ねっばとくん」を使つての発達段階に合せたデジタル・シティズンシップ教育の取組の話があつたが、子どもたちだけではなく、市民も閲覧できる環境を提供してほしいと感じた。 奥澤主幹兼指導主事 1点目のPBLについては、総合的な学習の時間を中心に取り組んでいくことから、評定ではなく評価を行うことになる。一人の担任教諭が、児童・生徒一人一人の評価を行うことは大変なことから、担任を中心としつつも教科の枠を超えた共同評価を行うことを考えている。 なお、共同評価では、タブレット端末で活用している統合型アプリケーションを活用することで、データの蓄積や、時間や場所に捉われない評価といったICTの強みが生かせると考えている。 PBLの実施に当たっては、この取組を通じて子どもたちをどのように育てていくのかといったイメージをしっかりと持ちながら、教員全体で進めてまいりたい。 2点目のPBLの取組のPRだが、子どもたちの学習状況や様々な取組をPRすることは大事だと思うので、検討していきたい。 3点目の市民向けの公開だが、現在は学校限定で公開しているコンテンツなので、難しい状況である。 しかし、いずれは保護者から地域の方、市民全体へと周知できるような機会の創設を検討してまいりたい。 古沢委員 教員や教育委員会の御尽力により、子どもたちが、基本的な情報活用能力や情報リテラシーの習得が十分になされていると、保護者として感じている。 今後、PBLの実践に移行していくとのことだが、子どもたちの健康面にも配慮して、安全かつ適切に使用できるよう対策を取っていただくとともに、継続的な調査を実施していただけるとありがたい。
--	--

	学校教育課長 健康面や安全面への配慮については、市のホームページや学校からのお知らせ等を通じて、児童・生徒や保護者への周知を図っているところである。 教育長 今までは、全体的に教育ＩＣＴの活用率に重点が置かれていたが、今後、電磁波が脳に与える影響や視力低下の問題などが、デジタル社会の大きな課題の一つになるかと思う。 高島委員 ＰＢＬを総合的な学習の時間で取り組むとのことだが、私は、他の教科でも積極的に取り入れていただきたいと思う。 また、教員同士が互いに授業を評価し、研修を通じて知識を深めるとともに、管理職は教員にアドバイスを送って、互いを高めていく体制を構築していただきたい。 学校教育課長 本日、説明した様々な取組について、今後、校長会と教頭会を対象とした研修を実施し、まずは管理職からの変革を促しながら、各学校の教員を対象とした研修を実施していきたいと考えている。 なお、ＰＢＬについては、先進地事例を見ても様々な教科で取り入れていることから、その辺も含めた研修を実施したいと考えている。 会田職務代理者 幸手市では、教育委員会が主体となって、学校ＩＣＴ専門員の配置や、ＰＢＬ導入における戦略と戦術、デジタル・シティズンシップ教育講座メニューを提示するなど、先導して進めているので、学校現場としては非常にありがたいのではないかと思います。 特に学校ＩＣＴ専門員の大西先生には、私も現役時代にＩＣＴに関する様々な問題で御相談をさせていただき、解決できた経験があるので、幸手市でも積極的に活用することで、今回、説明のあった取組がスムーズに進むかと思う。 高島委員 今までの教育行政は、指導法の改善に主体を置いていたが、私が以前から申し上げているとおり、今後は、教育
--	---

日程第 3 議 事 議案第 25 号 令和 4 年度幸手市一般 会計補正予算（第 3 号） 教育費の要求について	格差を是正する取組も重要だと思う。 教育格差を是正し、どんな子どもでも自分の夢を叶えられるような状況を、I C T の環境づくりを含めて取り組んでいただけるとありがたい。 教育部長 議案書により説明する。 《質疑》 藤沼委員 学校給食食材の単価高騰は、今も進んでいる状況だが、今後、更に高騰した場合は保護者に負担を求めるのか。 総務課長 給食費の急な値上げは、保護者への負担が大きいことから、来年度からの値上げに向けた検討をしたいと考えている。 年度内は現在の給食費で賄えると考えているが、さらに物価高騰が続き、国の補助などが受けられないようであれば、別の対策を検討しなければならないと考えている。
専決報告第 13 号 事務局職員の人事	総務課長 議案書により説明する。
専決報告第 14 号 臨時的任用教職員の内 申	学校教育課長 議案書により説明する。 《質疑》 会田職務代理者 前回も伺ったが、本日時点で配置できていない教職員はどの程度いるのか。 学校教育課長 前回と同じで、2 クラスある「ことばの教室」のうち、1 人の県費負担教職員がまだ配置できていない。 会田職務代理者

日程第 4 行政報告 1 教育長報告 2 事務局からの 主要な報告	小学校の教員免許が必要なのか。 学校教育課長 そのとおりである。 教育長 1 各種教育長会議等 2 年度当初教育長学校訪問 3 講演等 について資料により説明する。 総務課長 1 教育審議会委員の委嘱について 学校教育課長 1 令和 4 年度幸手市教育委員会研究委嘱校について 2 令和 3 年度「交通事故 0」達成校の表彰について 3 令和 3 年度幸手市立小・中学校新体力テストの結果 について 4 今後の主な行事予定 5 研修会関係 社会教育課長 1 埼玉葛郡市社会教育振興会総会並びに研修会 2 幸手市体育協会評議員会 3 埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会総会・研修会 4 第 61 回幸手市文化祭第 1 回実行委員会 5 文連発表会（主催 幸手市文化団体連合会） 社会教育課長（公民館） 1 4 月の利用状況 2 今後の事業予定 社会教育課長（郷土資料館） 1 報告事項 2 今後の事業予定 社会教育課長（図書館） 1 報告事項 2 利用状況 3 今後の事業予定
---	--

	4 予約の多い図書（上位5冊） 5 購入図書リスト 社会教育課長（体育施設） 1 利用状況 2 自主事業 3 今後の事業予定 について資料により説明する。 《質疑》 藤沼委員 5月25日に実施された西公民館のふれあいサロン事業だが、幼少期からの絵本の読み聞かせや紙芝居は、言語能力を高める上で非常に良い企画だと思う。今後、他の公民館でも実施していただけるとありがたい。 社会教育課長 検討したい。 会田職務代理者 2点お話ししたい。 1点目は、令和3年度の児童・生徒の新体力テストの結果だが、今回、市内小・中学校の全ての学年が、全ての項目で、県平均を下回る項目が無かったことに驚いた。 総評で、体育の授業を核として、体育的な授業の充実と家庭との連携により、コロナ禍における運動機会の減少等の影響を抑えたとあるが、その他の要因が分かれば何う。 2点目は、教員採用試験を見据えた幸手市臨時的任用教員研修会を全4回開催するとの報告があったが、これは非常にありがたいと思う。 大学卒業後にすぐ配置された新任教員は、県や市町村が主催する初任者研修等があるが、臨時的任用教員は、校長を中心とした管理職の指導に委ねられてしまうので、こういった研修は非常にありがたいと思う。 学校教育課長 1点目の新体力テスト好結果の要因だが、各学校の体育担当や養護教諭、学校栄養士の代表で組織する幸手市体力向上推進委員会で、具体的な方策を検討し、それらを各学校で実行してきた地道な取組が、この結果に表れたのではないかと考えている。 2点目の臨時的任用教員研修会だが、幸手市では、この
--	---

日程第 5 その他 1 次回定例会の 日程	研修のほかに、会計年度任用職員で教員の研修に特化した学校教育専門員を雇用し、各年次教員の授業を参観して指導を行っていただくとともに、臨時的任用教員についても指導していただいている。 また、東部教育事務所が年 1 回、研修を実施するとともに、県が作成した資料等を各学校に配布しており、これらも活用して学校の方で指導していただいている現状もある。 岩崎委員 2 点お話したい。 1 点目は、オリンピックの影響なのか、最近、街中でスケートボードを楽しむ人を見かけるようになった。場所によっては危険な箇所もあるので、幸手市でも安全に楽しめる環境を整備していただけるとありがたいと感じた。 2 点目は、先日、配布された権現堂川小学校 150 周年記念誌にシンボルツリーが掲載されていたが、私は母校のシンボルツリーの存在を知らなかった。 母校のシンボルツリーを知り、触れ合うことは、かけがえのない思い出になると思うので、是非、子どもたちに伝えてほしいと感じた。 社会教育課長 1 点目の遊戯スペースだが、近隣では五霞町にスケートボード場が整備されているが、幸手市内では整備されていない状況である。 学校教育課長 2 点目の御要望だが、シンボルツリーは全ての学校にあるものではないが、緑に触れる機会を設けるといった取組を行っている学校はあるところである。 各委員の意見を調整した結果、6 月の定例会については、次のとおり決定する。 第 6 回教育委員会定例会 日時 令和 4 年 6 月 21 日（火） 午前 9 時 30 分
--	---

ほ か 特 に 重 要 と 認 め る 事 項	な し
	上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。 令和4年 6月21日 教 育 長 山 西 実 署名 署 名 委 員 会 田 研 司